

会 議 録

附属機関名	おいらせ町行政経営推進委員会	
回 次	平成28年度 第1回	
日 時	平成28年7月22日(金) 15:00~16:40	
場 所	おいらせ町役場本庁舎2階 201会議室	
出席者等	委 員	<p>【出席者】(8名)</p> 委員長 : 樺 克裕 副委員長 : 昆 忠彦 委 員 : 苫米地 義之/加藤 正志/遠藤 律子/佐々木 四樓 小向 憲次/福原 仁一 <p>【欠席者】(4名)</p> 委 員 : 島田 勝/日ヶ久保 悟/高谷 直子/福島 妙子
	事 務 局 (総務課)	課長 小向 道彦/課長補佐 岡本 啓一/主任主査 澤頭 玲

内 容	
1. 開会 ※事務局の進行で開会される。	
2. 委員長あいさつ 平成28年度として第1回目の行政推進委員会となります。今日の案件は行政経営計画の素案と行政経営アクションプランについてということで、これまでは委員の方々が行政に対して自由な形でご意見をいただいておりますが、今回からは計画の具体的な話になるかと思っておりますので、活発なご意見をよろしくお願ひします。	
3. 案件 (1) おいらせ町行政経営計画の素案について	
委員長	最初の案件であるおいらせ町行政経営計画の素案について事務局から説明をお願いします。
事務局	行政経営計画の素案については、内容も多いことから項目の第1から第3までを説明した後に1度意見を伺い、その後項目第4から第5までを説明し、再度意見を伺いたいと思ひます。
事務局	(行政経営計画の項目第1から第3まで配付資料を基に内容説明がなされる。)
委員長	行政経営計画の素案について、項目の第1から第3まで説明をしていただきました。 ここまでの説明で、質問等はございますか。
委員	一般論でお伺ひしたいのですが、管理型から経営型へということで行政経営計画を作られると思うのですが、基本的には効率よく、健全で、事業の圧縮をかけながら、ということになると思うのですが、町民の立場からすると、快適で暮らしやすいとなると、すべて健全というわけではなく、ある意味攻めの政策というものも入ってきていいのではないかと。

事務局	<p>快適で暮らしやすい町づくりという部分については、別紙①6ページの計画の体系にもあります総合計画、実施計画で具体的な施策を定めて行っていくのですが、行政が施策を実行し続けるための、効率的な取組であるとか、内部の圧縮などをしていこうという趣旨での行政経営計画だと思いますので、攻めの部分というのは出にくい計画なのかなとは感じています。</p>
委員	<p>計画を立てて、5か年の期間で目標があって評価を出していくということになっていますが、政治的な施策とか首長の考え方、また国の施策もどんどん変わっていく中で、町の施策もガラッと変わってしまう可能性もあるが、そこはどう考えているのか。また、そうなると財政の部分とか借り入れの比率とか起債の借入額などについても全然違ってくると思うが。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、国等の動向によっては町も歩調を合わせるということもあり得ますので、財政的な部分も行政経営計画の中で目標を定めますが、検証を行う段階では、国や県の動向を踏まえた上で町が行った取組の結果、数字がこうになりましたというような検証は行っていかなければならないと考えています。</p> <p>また、取組自体についても、そのまま続けて良いかどうかということも併せて検証しなければならないと考えています。</p>
副委員長	<p>別紙①2ページの行政経営の課題の中で、職員の給与の部分について従前はなかったものが、幹事会で必要ではないかということで追加したとのことだが、それはどういう趣旨で必要ということになったのか。</p> <p>必要に応じての見直しということについては、人事院勧告等のことであれば見直しを行っているはずであり、制度上すでに運用されていると思われるものをあえて課題として載せているのは何か理由があって載せているのか。例えばラスパイレース指数が低いから上げるとかうような考えとかもあるのか。</p>
事務局	<p>ラスパイレース指数について当町は低いという話もありますし、また財政状況によってはさらに厳しくしなければならないということも考えられますので、両方の意味でも必要なのではないかなと考えています。</p>
事務局	<p>補足ですがラスパイレース指数とは、国と地方自治体の職員の給与を比較した時に用いる数値で、ラスパイレース指数が低いと国と比べて職員の給与が低い、高いと国と比べて職員の給与が高く、それは不適切ではないかといったような比較をするときに使われる指標になります。</p>
委員	<p>職員の給与について乗せているということは、その都度計画の中で検証を行っていく、そのためにどのようなこともあり得るから載せておきたいということですか。</p>
事務局	<p>職員の給与については、毎年の人事院勧告等もあるのですが、現在では昇給については人事評価をきちんと行って昇給させるべきではないか等、その時々に応じて給与制度の課題が変わってくることもあり、計画に給与のことを載せておかなければ根拠として弱いのかなということもありまして、事務局としては載せるという判断をしています。</p>
副委員長	<p>他の委員からも少し指摘がありましたが、行政経営計画はPDCAのマネジメントサイクルを用いて、評価・見直しを行っていくということになっていますが、</p>

	<p>職員の給与について、適正な運用や諸手当の支給のあり方などを必要に応じて見直していくということについて、どのように評価をしていけばよいのか。</p> <p>給与については言わずもがなという気もするのだが。</p>
委員長	<p>話を整理させていただきたいのですが、まず別紙①の7ページがすごく大事なところで、この委員会の役割について記載されています。</p> <p>先ほど他の委員が言われた攻めの政策の話については総合計画で話し合われるところなので、この委員会は総合計画をやるにあたって、本当にそれが実現可能なのか、財政が破たんしませんか、効率的・効果的な組織運営になっていきますかということ話し合っていく委員会なのかなと感じていますので、個別のことを話すよりは、もっと全体的な、特に財政のところ重要になってくると思っています。</p> <p>これを踏まえて、先ほどから話に出ています給与の件についてですが、行財政を考えるうえで職員の人件費の話はすごく重要な話だと思うので、計画に乗せるのはやぶさかではないのですが、ただ、懸念されているのは、ここで給与のあり方等が決められてしまうのではないかとということだと思うのですが、そのようなことではなく、あくまで財政の一部として給与の問題が話し合われるという位置づけだと事務局では考えているのではないかと思います。</p> <p>もちろん委員の方が個別の問題について話していただくのは結構だと思うのですが、個別のことについては、また別のところで専門家の方々が議論をしているはずですので、その挙がってきた内容についてうまくいくのかどうかを話し合う場だと思っています。</p>
委員長	<p>また後で、意見等がありましたら発言していただければと思います。</p> <p>それでは行政経営計画の素案の項目第4から第5までを事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(行政経営計画の項目第4から第5まで配付資料を基に内容説明がなされる。)</p>
委員長	<p>行政経営計画の素案について、項目の第4と第5の説明をしていただきました。ここまでの説明で、質問等はございますか。</p>
委員	<p>別紙①11ページの行政経営アクションプランの基本方針Iの③「決算状況を検証し町財政計画に活かします」のところで、決算については町と議会の代表の監査委員が評価をし、議会へ報告していることも踏まえて、所管課に議会事務局も含めたほうが良いのではないかと。</p>
事務局	<p>行政経営アクションプランの所管課については、あくまでアクションプランを作るという位置づけで記載しております。</p> <p>ただ、委員のおっしゃるとおり、決算が出れば監査委員よりご指摘をいただいているところでしたので、検討を行う際には議会事務局との連携は必要なのかなと思われま。</p>
委員	<p>別紙①15ページの経常収支比率について、この見方といいますか、平成26年度の90.7%というのはどのように解釈すればよいのか。また、高いところで92.1%、低いところで85.3%となっているがこの理由は。</p>
事務局	<p>経常収支比率とは、一般的な経常の歳入と歳出の割合になるのですが、一般的</p>

	<p>な経常の歳入のほとんどが地方交付税になります。ですから、歳出額があまり変わらなくても、歳入額が変われば経常収支比率が増減しますので、大きくは交付税の増減ではないかと思います。</p> <p>経常収支比率が90%ということは、歳入の90%は固定的な歳出に使われていることなので、自由に使える歳入は10%しかないということになります。</p>
委員長	現状で、財政が破たんするという事ではないですよ。
事務局	<p>そういうことではないです。</p> <p>確実に言えることは、経常収支比率が100%を超えている場合は、固定的な経費を、基金を取り崩して賄っている等の状況ですので、財政破たんに向かっていって考えてよいかと思います。</p>
委員	<p>経常収支比率の話がありましたけども、自由に使えるお金が約10%ということで、歳入額の増減で経常収支比率も変動していくとのことでしたが、問題は別紙①2ページの財政状況について記載されている交付税の合併算定替分の減額がいつから始まって、その影響がどのようになってくのか、事務当局の方では算定されていると思うのですが、簡単に言えば使えるお金が少なくなっていく中で、それをアクションプラン等にどう反映させていくのか。</p> <p>もう一つは、別紙①12ページの基本方針Ⅲの①「外部委員による事務事業の評価を行います」のアクションプランが「実施計画事業を対象とした第三者機関による評価・検証」とありますが、評価・検証をしたものは当局に提案・提言として出していくということになるとと思いますが、従来の評価・検証にとどまらず、拘束力というか、ある程度強い意味合いを持たせるつもりがあるのか。</p> <p>第三者機関での評価・検証が、見直しをする際に活かされてほしいという願いもありますので、どのように考えているのかお聞きしたい。</p>
事務局	<p>交付税の合併算定替については、毎年財政担当の方で合併する前の2町での交付税算定と合併後の1町での交付税算定を行い、その差額が合併算定替となるのですが、それが最終的にはなくなるということで、金額的には大体5億から6億くらいになる予定でしたが、そこまで減らして地方が大丈夫なのかということで、国の方で合併算定替の4割くらいの減額にとどめるという報道もあるのですが、まだ内容が定まっていないところもあり、どのくらい減額になるのかということとは言えない状況です。</p> <p>合併算定替の減額に関しては、平成28年度から始まりますので、段々と数字も分かってくると思いますので、お知らせしていくことができるようになると思います。</p> <p>第三者機関の評価・検証については、町の方で皆さんからの意見を聞いて変えていこうということですので、真摯に取り組んでいくということで、そうでなければ検証等も止まってしまうと思いますので、きちんと対応をしていくと考えています。</p>
委員	そうしますと合併算定替については、国の方針も金額については確定していないし、国の財政状況等を見ながら、ということで理解してよろしいですか。
事務局	今は、国の方針等について検討を進めている状況だと思われま。

委員	このことについては、ある程度分かった範囲でいいので、計画に反映させていく作業は行っていただきたい。
委員	<p>第三者機関については、乱立というわけではないですが、今はどこにでもありますよね。例えばいじめとかの問題については第三者機関に強い提言力があるのですが、行政改革とかになると提案はするものの、それがどこに活かされているのか、またその結果についてあまり聞いたことがない。</p> <p>これだけの時間をかけていますので、そういうところもったいないと思っていますので、あえて言わせてもらいました。</p>
委員長	私から要望があるのですが、別紙①15ページの財政等の状況についてなのですが、記載されているものが財政指標等なのですが、先ほど他の委員からも話がありました。町民はこれを見て理解するというのが中々難しいと思われるので、歳入歳出の状況を示して、今おいらせ町がどういう状況であるのか、後は公債の残高がどれくらいあるのかを入れたほうが町民の理解も進むと思います。
委員長	<p>健全化判断比率につきましては、北海道の夕張市が財政破たんをしたというのは皆さんご承知とは思いますが、いま夕張市は税率を上げたり、人件費を減らしたり、病院などの公的サービスをカットしたりと大変な状況になっており、そういうことが起こらないために健全化判断比率を定めて管理をしています。</p> <p>なので、健全化判断比率に引っ掛かっていなければとりあえず安全だとは言えるのですが、もう少し長くデータを見ていった方が委員の皆様にはわかりやすいのかなと思います。</p> <p>なお昨年の段階で、健全化判断比率に引っ掛かっているのは夕張市だけです。青森県の大鰐町は、長らく引っ掛かっていたのですが、財政再建を進めていった結果、現在では解消されています。</p>
委員長	また後で、意見等がありましたら発言していただければと思います。それでは次の案件に移ります。
(2) おいらせ町行政経営アクションプランについて	
委員長	それでは、次の案件であるおいらせ町行政経営アクションプランについて事務局から説明をお願いします。
事務局	(行政経営計画の項目第1から第3まで配付資料を基に内容説明がなされる。)
委員長	<p>行政経営アクションプランについて、説明をしていただきました。</p> <p>いまから行政経営アクションプランを作っていくということですが、行政経営計画の案、アクションプランの様式案及び記載例等について、意見等がありましたら発言していただければと思います。</p>
委員	行政経営アクションプランについては、多岐に亘るといえるのか、かなりの事務量といえるのか、大変な作業になると思うのですが、プランについて目標設定などを立てることが大変だと思うのですが、それに対する人的な関わり、どういう構成の方がどれくらいの人数が関わって作られるのかを確認したい。
事務局	アクションプランについては、記載してある所管課の各担当と協議しながら、一人ですべて作成するのは無理ですので、周りの協力を得ながら作成していきたいと思っています。

事務局	たたき台を作ってもらって、それを行政経営幹事会及び行政経営推進委員会で話し合いを行い、行政経営本部会議に諮るとい形になると思いますので、最初はたたき台を作る作業になるのかなと思います。
委員	いま行っている事務にプラスアルファで仕事が増えるということですか。
事務局	<p>実際いろいろなアクションプランがありますが、進めている事業等もあり、実施計画と被る部分もありますので、全く新しく作成していくものはそれほどないのかなと考えております。</p> <p>様式も実施計画に合わせて作成している部分もありますので、同じ内容のものがあればどちらでも使えるようにしております。</p>
委員	所管課の中に全課と記載されているものもありますが、その場合は教育委員会の学務課とか社会教育・体育課も含まれるのか。
事務局	含まれることとなります。
委員	直接関係のない話なのですが、今回の会議資料の決裁は誰までの決裁になっていますか。町長には今回の会議資料は見せているのですか。
事務局	今回の会議資料は、総務課長までの決裁となっています。
事務局	今回の会議を経て、これから三役及び各課長で構成される行政経営本部会議へ報告することになります。
委員	委員の評価方法はもう少し簡単にならないか。
事務局	委員の評価方法については、数字などで5段階評価にして、意見等一言添えた場合は記載するというような形も検討してみたいと思います。
委員	文書等を書くとき、各課によって表現が違ってくる場合もあると思うのだが、文書を書かせるのではなく項目をいくつか作って選択させるようにアクションプランを簡易化するつもりはないか。
事務局	PDC Aサイクルを行って計画を見直していくと考えたときに、数値目標などがないと評価が難しいと思われるため、この様式で進めていきたいと考えている。
委員長	<p>アクションプランについては、ほかの委員の方もおっしゃられるとお作りするのは大変だと思うのですが、いろいろ参考にされたと思うのですが、県とか他の市町村も大体同じような形式で作成されています。</p> <p>アクションプランの中身自体は、各自治体で異なっていますが、今回おいらせ町は初めて作ることになるので、まず作ってみるということになるのかなと思います。</p> <p>今回の様式の中に「新規」「継続」「途中追加」「終了」を選ぶ欄があるのですが、PDC Aサイクルではここが重要でして、計画を単に行うだけではなく、事業の効果が達成できたらその事業は終了してもよろしいでしょうし、新たな問題があればそれをプランとして入れていくなど、見直しをしていくことが大事だと思います。</p> <p>最初にアクションプランを作るのは大変だと思いますが、方向を定めてこの様式で作っていくということであれば、次からは1から作るということはないと思いますし、作成している段階で行政の課題とかもわかってくると思いますし、様式自体はまあまあ良くできているのかなと感じています。</p>

委員長	5年計画になっているのですが、すぐに達成できてしまうプランもあるし、5年たっても達成できないプランもあると思われませんが、それは一つの大枠の中で一律的に行っていることなので仕方がないことなのですが、一回5年間やってみてから見直しをするということでもいいのではないかと感じています。
委員長	その他発言していない方から、何かありませんか。
委員長	無いようですので、これで案件の一通りの審議を終わりたいと思います。
4 今後の予定 (確認)	
委員長	それでは、次の今後の予定について事務局から説明をお願いします。
事務局	(配付資料を基に内容説明がなされる。) <ul style="list-style-type: none"> ・次回開催は9月を予定。 ・今回は行政経営計画の他に、現在企画財政課で作成中である「公共施設等総合管理計画」の素案についても協議を行いたい。
委員	最後に一つお願いですけど、せっかく委員になって、今日欠席した委員が数名おりますけど、できれば全員が出席して会議を行うほうが良いかと思います。 開催日については、委員全員に確認を取って決めていただきたいのですが。 あと、今回は開始時間が15時からとなっていましたけど、これは個人的には良いと思いました。
事務局	これまでは、委員長と日程を調整し、大体1か月前に委員に開催通知を出すという方法を取っていましたが、全員の日程を合わせるとなると、会議の日程が決まらない可能性もあるので。
事務局	全員というわけにはいかないかもしれませんが、次回は一度皆さんに2～3日くらい候補を決めて、日程を確認してみたいと思います。
事務局	今日もらった意見を幹事会、本部会議の方でも協議し、また次回の委員会にあげたいと思いますので、よろしくをお願いします。 また、報酬の方も早めにお知らせしたいと思います。 それでは修礼で会議を閉じたいと思います。皆さまご起立ください。
一同	ありがとうございました。